

議会だよりは市民の皆さんと議会をつなぐ「かけはし」ですぜひ御一読を



かつなりくん

かりや市議会



だより

〈第159号〉

～刈谷市議会は、議会基本条例に基づき、「市民に開かれた議会」・「市民に信頼される議会」を目指して議会活性化に取り組んでいます～



令和3年度予算を可決 総額約946億円
「住んでみたい、住み続けたい、訪れてみたい」
まちの実現を目指して (関連2、3ページ)

全小中学校の児童・生徒

“ひとりひとりに”

タブレット端末を配備

| 主な記事 | ページ |
|--------|-----|
| 3年度予算 | 2～3 |
| 主な議案 | 4 |
| 委員会の動き | 4～5 |
| 議決結果 | 5 |
| 質問質疑 | 6～8 |

3月定例会のあらまし

この定例会は2月18日に招集され、会期34日間で3月23日に閉会しました。今回は議案など38件が提出されました。

主な議案は、定住自立圏の形成に関する協定の締結についてや、押印を求める手続の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定についてなどです。

◆2月18日 本会議

(施政方針、議案説明など)

市長から令和3年度施政方針と提出した議案の大綱についての説明があり、続いて教育長から令和3年度教育行政方針が述べられました。

次に、報告議案4議案を了承した後、令和2年度刈谷市一般会計補正予算(第10号)を可決しました。

次に、定住自立圏の形成に関する協定の締結についてなど16議案、令和2年度補正予算関係5議案、令和3年度予算関係8議案の説明を受け、関係する委員会で審査することとしました。

◆3月4日・5日・8日 本会議(質問質疑など)

17人の議員が42項目にわたり、

一般質問と令和3年度予算の質疑を行いました。

◆8日 予算審査特別委員会

予算議案は分科会を設置して審査することとしました。

◆10日～12日・15日 委員会、分科会

議案を審査し、委員会や分科会での採決を行いました。

◆22日 予算審査特別委員会

分科会での審査の経過と結果が報告され、予算議案の採決を行いました。

◆23日 本会議(採決)

各委員長から、委員会での審査の経過と結果が報告されました。一部の議案について、反対意見がありました。採決の結果、議案は全て原案のとおり可決しました。

次に、追加議案及び議員提出議案の計4議案が追加上程され、原案のとおり可決しました。3月定例会での傍聴者は延べ60人です。

6月定例会の開催予定

- 5月28日(金) 議会運営委員会(運営を協議)
- 6月10日(木) 本会議(開会、一般質問など)
- 11日(金) 本会議(一般質問など)
- 14日(月) 本会議(一般質問、議案説明など)
- 予算審査特別委員会
- 6月16日(水) 企画総務委員会
- 17日(木) 福祉産業委員会
- 18日(金) 建設委員会
- 21日(月) 市民文教委員会
- 25日(金) 予算審査特別委員会
- 議会運営委員会(運営を協議)
- 28日(月) 本会議(委員長報告・採決など)

各会議は10時から17時まで(進行状況などにより、変更する場合があります)。傍聴の際は、当日次の受付へ。
 本会議：市役所10階、傍聴受付
 委員会：市役所9階、議会事務局受付

○託児を希望される方へ(生後6か月以上の未就学児、先着順)
 臨時保育室「カンガルールーム」を御利用いただけます。
 傍聴希望日の1週間前までに議会事務局まで御連絡ください。

○手話通訳・要約筆記を希望される方へ
 傍聴希望日の1週間前までに議会事務局まで御連絡ください。

○一般質問KATCH放送(地上デジタル11チャンネル)
 6月16日(水)、21日(月)、23日(水)でいずれも18時から。
 詳しくはチャンネルガイドを御覧ください。



※QRコードはデンソーウェブの登録商標です

令和3年度予算関係

本会議での質疑

質問質疑では、市政の方針などを問いました。本会議での質問質疑については、6、8ページの「質問質疑」を御覧ください。

委員会・分科会・本会議

質問質疑終了後、予算審査特別委員会を経て各分科会で審査しました。

3月22日に開催された予算審査特別委員会では、各分科会での審査の経過と結果が報告され、一般会計、国民健康保険・後期高齢者医療の各特別会計の計3議案に反対の意見がありました。採決の結果、賛成多数によりいずれも原案のとおり可決しました。

23日の本会議では、予算審査特別委員会の報告を受け、討論を行いました。

討論では、刈谷城築城に関する予算が含まれていること、おがきえ保育園及びあおば保育園の指定管理について、利益を生むことを優先する株式会社への指定をやめて直営にすべきであると考えられる立場であること、国民健康保険協会のけんぽと比較すると非常に高額であり、引下げを求める立場であること、高齢者を年齢で分断する後期高齢者医療制度を廃止し、元の老人保健制度に戻すべきと考えられる立場であることなどにより反対の意見がりましたが、採決の結果、議案はいずれも原案のとおり可決しました。

【分科会での主な質疑】

■企画総務

■当初予算編成全般

問 当初予算編成において、特に重点に置いた配分の考え方は。

答 リーマンショックの経験を踏まえ、財政調整基金を一定額確保することなど、事前に市としての貯金を確保しておくことで、災害などの突発的な事象への対応と計画的な施策の推進を継続して実施することができ体制を整えてきた。その結果、スマートインターチェンジや周辺道路の整備、JR刈谷駅北口周辺整備といった大型事業を令和3年度の完了に向けて停滞させることなく計画どおり進めていくことができることや、公共施設の大規模改修工事など、施設の維持保全事業について、施設の劣化状況を再度確認し、一部計画を変更しているが、必要な改修を確実に実施していくことができると、そして、ウイズコロナ、アフターコロナへの対応やデジタル化の推進といった新たな財政需要に着実に対応していくことができること、最後に、三世代同居等住宅支援事業や魅力あふれる公園づくり事業、小学校体育館への空調整備など、将来のまちづくりを見据えた新規事業にも取り組んでいくことができるものと考えている。

■福祉産業

■IT人材育成支援事業

問 事業の概要は。

答 市内中小企業の社員を対象に2コースのセミナーを開催し、企業のIT人材を育成することで、企業のIT化へのきっかけを作り、市内企業のIT化の底上げを図ることを目的として実施する。受講者の費用負担はなく、きめ細かな指導が行えるように受講者は各コース10名程度を想定している。



IT人材を育成し企業の成長を支援

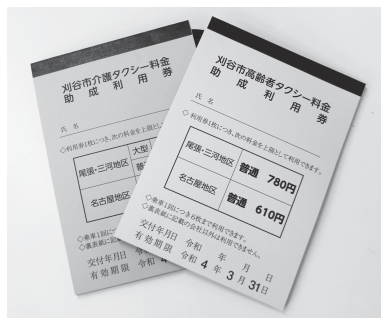
での通訳を行うため、ポルトガル語、タガログ語、中国語、英語に対応する外国人生活相談員を配置し、外国人への相談窓口の充実を図るもので、主な経費は、相談員4名の人件費である。

建設

■三世代同居等住宅支援事業

問 本事業の狙いは何か。

答 この制度の導入により、世代間で助け合える三世代同居を促進することで、子育てに対する不安や負担を軽減し、少子化対策や、子育て世代の定住促進につながり、ひいては将来にわたり安定した市政運営が図られるものと考えている。また、副次的な効果として、介護が必要な場合や災害時などには、互いに助け合えるといったメリットも挙げられる。



高齢者が安心して外出することができるよう支援を

問 親が賃貸住宅で、子供世帯が新たに賃貸住宅を借りて近居を開始した場合は補助の対象となるのか。

答 賃貸住宅は住み替えが容易であり、転居や転出により、三世代同居等が継続できなくなるケースが考えられるため、対象外としている。ただし、近居については、親世帯が賃貸住宅の場合でも子供世帯が取得などをする住宅は補助の対象となる。

問 魅力あふれる公園づくり事業とあるが、どのような公園を考

えているのか。
答 テレワークや分散勤務、オンライン授業など、働き方や生活様式が変化し、公園機能の充実が求められる状況の中で、市民の皆様が快適で楽しく過ごせる場所として必要な機能を持ち、幅広い世代の多くの方々に利用していただける公園であると考えている。
問 例えば名城公園にある「トナリノ」のように有名カフェやスポーツショップが入っている商業施設を設置し、多様な人々が、仕事や交流ができるようにすることについてはどのような見解か。
答 民間活力を活用した商業施設などの設置については、公園の魅力を上向きさせるための有効な手段の一つであると考えている。将来構想案の策定に当たっては、それぞれの特徴を生かした魅力ある公園として、どのような機能を付加し整備することが必要なのかという点を検討していく中で、人々が交流できる施設を設置などについても、合わせて検討していきたいと考えている。

えたいのか。
問 工事期間はどのようか。
答 工期は、令和3年7月から令和4年3月までを予定している。その間の住民票発行などの出張所業務は通常どおり利用できるが、集会所や会議室を利用する公民館や老人センター及び児童館は休館とする。

えたいのか。
問 改修工事の内容は。
答 老朽化した給排水の配管や空調機等の設備の更新、内装の改修及びトイレの洋式化を行うほか、現在、建物西側にある事務室を建物の中央に配置し、手狭な図書室の拡張や新たに児童館に授乳室を設置するなど、利用者の利便性に配慮した改修を行うものである。

えたいのか。
問 富士松南小学校体育館改築事業
答 既存の体育館よりも、大きなスペースを取る必要があると思われるが、建て替えを予定している場所はどこか。
答 既存の体育館跡地では、十分な建築面積を確保することができないため、市内小学校プールのうち、未改修の中で一番古く、老朽化も進んでいる既存プールを解体し、その跡地に新体育館の建設を予定している。

えたいのか。
問 プールを解体すると、水泳の授業はどうなるのか。
答 水泳授業については、体育館の建設工事を予定している令和4年度から、試験的に民間企業が運営する屋内温水プールに委託して実施することを検討している。

えたいのか。
問 プールの工事を含めた体育館の建設スケジュールは。
答 現時点では、令和4年度に水泳授業の民間委託を実施し、7月頃からプールの解体工事に着手したいと考えている。新体育館の建設工事は、プール解体工事終了後の10月頃から着手し、令和5年度中の供用開始を目指したいと考えている。



児童が快適に運動することができるよう体育館を改修(富士松南小学校)

東刈谷市民センター大規模改修事業

問 改修工事の内容は。

答 老朽化した給排水の配管や空調機等の設備の更新、内装の改修及びトイレの洋式化を行うほか、現在、建物西側にある事務室を建物の中央に配置し、手狭な図書室の拡張や新たに児童館に授乳室を設置するなど、利用者の利便性に配慮した改修を行うものである。

問 工期は、令和3年7月から令和4年3月までを予定している。その間の住民票発行などの出張所業務は通常どおり利用できるが、集会所や会議室を利用する公民館や老人センター及び児童館は休館とする。

問 富士松南小学校体育館改築事業
答 既存の体育館よりも、大きなスペースを取る必要があると思われるが、建て替えを予定している場所はどこか。
答 既存の体育館跡地では、十分な建築面積を確保することができないため、市内小学校プールのうち、未改修の中で一番古く、老朽化も進んでいる既存プールを解体し、その跡地に新体育館の建設を予定している。

令和3年度予算に見る主要事業

守ろう！～安心安全と健康～

◆災害時の要配慮者への支援体制を強化するため、福祉避難所の刈谷特別支援学校、社会福祉法人観寿々会ハロポンズに防災備蓄倉庫を整備。



災害時の要配慮者への支援体制を強化

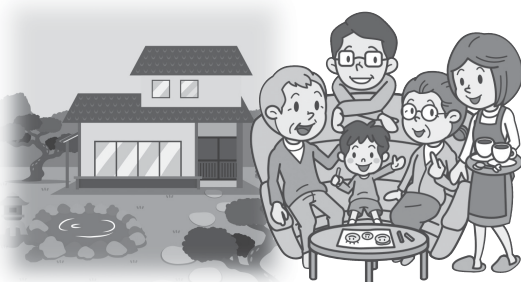
◆安心安全で効果的な運動ができる場所を提供するため、北部地区に「(仮称)北部げんきプラザ」の開設準備。



適度な運動で健康を保つ (総合健康センター)

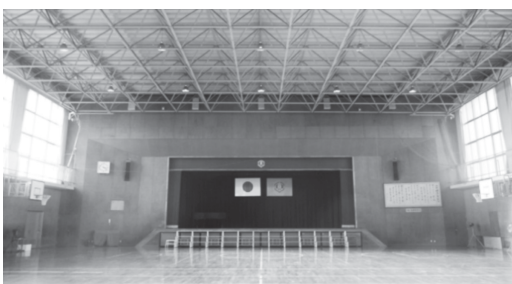
育てよう！～子どもと未来～

◆定住促進を図るため、三世代(親、子及び孫)で同居または近居するための住宅建築や取得に係る費用(100万円以上限定)の一部を補助。



子育て世代が安心して生活できる環境を

◆教育環境の向上及び避難所機能の強化を図るため、小学校体育館に空調設備を整備するための実施設計を作成。



児童の教育環境と災害時の避難所機能を向上

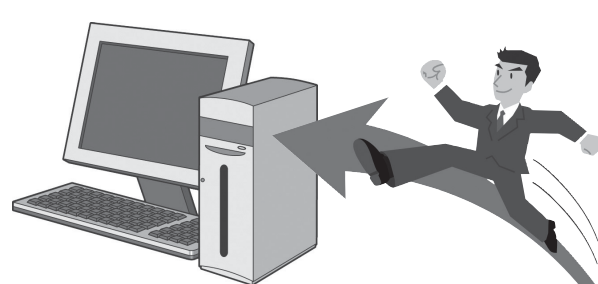
輝こう！～暮らしと仕事～

◆誰もが行きたくなる魅力あふれる公園の実現を目指すため、主要な5か所の公園を対象に、それぞれの特徴を生かした将来構想を策定。



魅力あふれる公園づくりに向けて

◆市の将来的な産業競争力強化のため、「IT導入コース」「エンジニア養成コース」のセミナーを開催。



市内企業におけるIT化の底上げを

市制施行70周年プラス1事業

◆総合文化センターにおいて各種文化振興事業を開催し、優れた文化芸術作品の鑑賞及び市民参加の機会を提供。



「夕鶴」出演
小林沙羅
(ソプラノ)

オペラ「夕鶴」公演 (令和4年1月30日(予定))

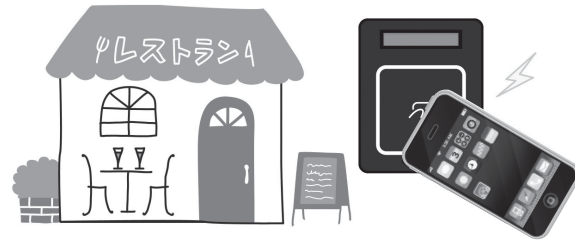
新型コロナウイルス感染症対策関連事業

◆新型コロナウイルスワクチンの医療機関での個別接種及び特設会場での集団接種を実施(繰越明許費)。



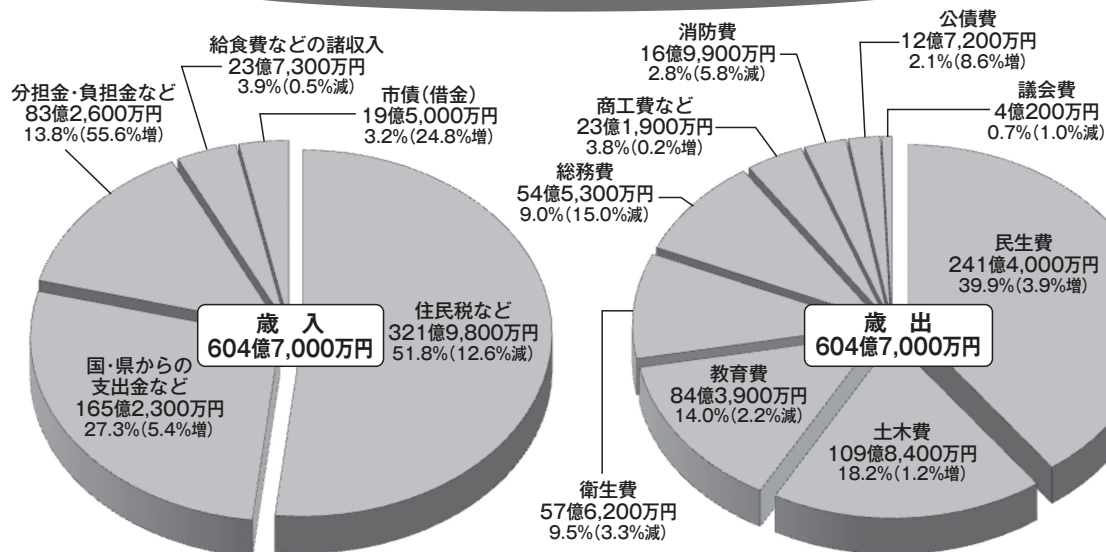
訓練を行い接種時の混乱を防ぐ(保健センター)

◆市内のキャッシュレス決済に対応する飲食店の利用者に対し、スマートフォンでキャッシュレス決済をした際にポイントを還元(繰越明許費)。



決済額の20%相当分を還元

一般会計の内訳 ()内は対前年度比



〔国・県からの支出金などの内訳〕 国庫支出金、県支出金、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、環境性能割交付金、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金

〔分担金・負担金などの内訳〕 分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金

〔商工費などの内訳〕 労働費、農林水産業費、商工費、災害復旧費、諸支出金、予備費

(注)それぞれの数字は四捨五入してそろえたため、総額や割合に一致していない場合があります。

3年度予算の総額

| 会計名 | 本年度 | 前年度比較 | 伸び率 |
|------------------|--------------------|-------------------|--------------|
| 予算総額 | 946億6,000万円 | 2億1,500万円 | 0.2% |
| 一般会計 | 604億7,000万円 | ▲3億1,000万円 | ▲0.5% |
| 特別会計 | 233億8,900万円 | ▲6億2,500万円 | ▲2.6% |
| 刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業 | 8億9,400万円 | ▲4億300万円 | ▲31.1% |
| 刈谷野田北部土地区画整理事業 | 1億4,200万円 | 300万円 | 2.1% |
| 国民健康保険 | 113億3,200万円 | ▲3億9,500万円 | ▲3.4% |
| 後期高齢者医療 | 20億8,100万円 | 1億4,600万円 | 7.5% |
| 介護保険 | 89億3,900万円 | 2,400万円 | 0.3% |
| 企業会計 | 108億200万円 | 11億5,000万円 | 11.9% |
| 水道事業 | 50億9,900万円 | 9億4,700万円 | 22.8% |
| 下水道事業 | 57億200万円 | 2億400万円 | 3.7% |

※百万円単位で四捨五入しています

※詳しくは、市ホームページの「予算のあらまし」を御覧ください

主な議案

3月定例会

(要約して掲載しています)

単行議案

■定住自立圏の形成に関する協定の締結について

知立市、高浜市及び東浦町とそれぞれ再度協定を結びます。

【問】 これまでの定住自立圏形成の成果や中心市にとってのメリット、課題等はどうですか。

【答】 これまで、定住自立圏構想の代表的な取組として、刈谷豊田総合病院を中核とした病診連携の推進や刈谷特別支援学校の開校、観光パンフレットの共同作成、定住自立圏域のボランティア活動情報サイトの構築及びイベントの共同開催による団体同士の交流を実施してきた。そのほか、各市町のコミュニティバスの本市への乗り入れや美術館企画展チケットの相互販売など、スケールメリットを生かしながら、圏域住民全体としてサービスの向上につながる施策を実施することができているのではないかと考えている。

【問】 将来的にスケールメリットをさらに生かすよう、行政のデジタル化や防災連携など、協定内容を広げる考えはあるか。

【答】 今後、定住自立圏共生ビジョンの策定に向け、構成市町と検討を進める中で、実施可能な取組については、盛り込んでいければと考えている。今回の協定に含まれない分野についても、各市町が抱える課題等を話し合う機会を持ち、定住自立圏として実施する意義やメリットがある取組については、今後検討していきたいと考えている。

条例議案

■刈谷市介護サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について

指定地域密着サービス等の事業の一般原則として「高齢者虐待防止推進の義務」などを追加します。

【問】 今回の見直しは訪問サービスも対象か。

【答】 令和3年度の介護保険制度改正に向け、「指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令」が公布され、全ての介護サービスを対象として、運営上の基準の見直しがされている。

【問】 運営に関する基準が変更となることで、事業者はどのような対応が必要となるのか。

【答】 「高齢者虐待防止推進の義務」について、全ての介護サービス事業者を対象に、虐待発生・再発を防止するための虐待防止委員会の開催、虐待防止に係る指針の整備、研修の実施、担当者を定めるなどの対応が義務化される。

■刈谷市体育施設条例の一部改正について

体育施設の附帯設備の使用料を改正します。

【問】 改正する背景は。

【答】 照明設備の使用料は、使用時にかかる費用相当分を使用者に負担していただいている。今回、4年ごとに行っている見直しにおいて、現在の使用料が消費税率5%の時に改定されたものであることから、消費税率の改定分を使用料の額に反映するため、5%程度の引上げを行うこととした。

【問】 平成24年に体育館とウィングアリーナ刈谷は全体の電気料が下がっていることから、消費税5%込みで引き下げたと聞いている。今回、コロナで施設を休館し、全体の電気代が下がっていることから、引下げとすると検討をしなかったのか。

【答】 今回の改定はコロナの影響のために改定するものではなく、4年に一度の料金設定ということで改定をしている。

【問】 施行日を10月1日とした理由は。

【答】 施設の予約などが事前に入っている場合があるため、市民への周知も含めて10月1日からと設定している。

補正予算議案

2月18日の本会議において新型コロナウイルスワクチン接種事業に関する令和2年度一般会計補正予算議案(第10号)を原案のとおり可決しました。

次に、令和2年度補正予算関係5議案を全議員で構成する予算審査特別委員会を経て、関係する分科会で審査しました。

3月22日に再度予算審査特別委員会を開催し、各分科会での審査結果について各委員長から報告を受け、23日の本会議においていずれも原案のとおり可決しました。また、本会議最終日に新型コロナウイルスワクチン接種福祉・高齢者タクシー助成事業などの令和2年度補正予算関係2議案が上程され、原案のとおり可決しました。

補正する額(一般会計)

21億60万9千円

補正後の予算(一般会計)

830億669万円

補正後の予算総額(全会計)

1,173億40万7千円

【主な事業】

新型コロナウイルスワクチン接種事業

【問】 市外に通院中のかかりつけ医での接種や会社内での集団接種はできるのか。

【答】 市外のかかりつけ医での接種は、医療機関が接種医療機関として登録していれば接種することが可能である。また、事業所で働く従業員への接種については、集団接種を実施することにより接種率は向上し、感染防止対策としての効果が期待できると考えているが、現在、国において検討しているため、それらの状況を注視していく。

新型コロナウイルスワクチン接種福祉・高齢者タクシー料金助成事業

【問】 心身障害者や高齢者が新型コロナウイルスワクチン接種会場の往復に利用できるタクシー料金助成利用券の交付枚数は。

【答】 今回の助成は、移動が困難である既存のタクシー料金助成利用券の交付対象者に対して交付するものであり、多くの対象者は自宅近所で接種すると考えている。ワクチン接種1回につき利用券2枚、接種2回で最大4枚を交付する。

【問】 タクシー券の交付はいづれを予定しているのか。

【答】 既存のタクシー料金助成利用券の交付に合わせて、4月1日から交付する予定である。 ※市民の方等から貴重な御寄附を頂きました。補正予算に計上し活用させていただきます。

・心身障害者福祉事業費寄附金 29万5千円

・高齢者福祉施設事業費寄附金 13万8千円

・子ども園事業費寄附金 6万2千円

・公園事業費寄附金 5万円

81万1千円

陳情の結果

今回事民の皆さんから提出された陳情2件は、関係する委員会審査の結果、1件が趣旨採択、1件が不採択となりました。

▼請願書の紹介議員は1人以上とすることを求める陳情 趣旨採択
▼請願書・陳情書の文面チェック 不採択

委員会の動き

委員会では、議案、陳情の審査のほか、主に次のことについて、質問などがありました。

企画総務委員会

市民意識調査等

【問】 総合計画の進行管理のほかに、今回、新型コロナウイルス感染症の影響について調査した意図は何か。

【答】 コロナ禍での市民の意識や行動を把握するためである。

【問】 今回の調査を踏まえ、今後どのような対応を検討しているのか。

【答】 短期的に対応すべき課題あるいはコロナ後を見据えた長期的な課題を整理しながらまちづくりの方向性や取り組むべき事業の検討などにつなげていく。その他「市税納付キャッシュレス決済」「避難所運営」「刈谷小頃復刻」などがありました。

福祉産業委員会

第2次刈谷市食育推進計画

【問】 第1次計画期間中に進めてきた食育の主な取組は。

【答】 刈谷市産の農産物が学校給食で提供される日に合わせて生産者と地産地消や地域の農業に関する対話をし、普及に努めるなどの取組を行った。

【問】 計画の策定にあたり行ったアンケートから見えた課題は。

【答】 若年層の朝食を欠食する割合が特に男性は20%と高くなっている。将来親になる若年層に対して食育の認知と実践につながることを課題としている。 その他「コロナワクチン接種」「路上喫煙」「視覚障害者の生活実態把握」などがありました。



介護サービスの運営基準を見直し、高齢者に安全で安心なサービスを提供



今回改正する対象施設の1つ ウィングアリーナ刈谷

議決結果一覧表

(※)：賛否が分かれたもの

Table with 2 columns: 議決結果 (議案名) and 結果 (賛否). Rows include items like '損害賠償の額を定める専決処分について' and '福祉産業委員会関係'.

3月定例会提出議案の賛否

賛否が分かれたものについて掲載します。(○：賛成 ×：反対)

Large table with columns for members (e.g., 清水俊安, 外山 鉦一) and rows for various proposals (e.g., '定住自立圏の形成に関する協定の締結について').

建設委員会

第3次刈谷市耐震改修促進計画

問 これまでの木造住宅無料耐震診断及び耐震改修費補助の件数は。

答 木造住宅無料耐震診断を受けたものが4,284戸、耐震改修費補助を受けたものが546戸である。

問 非木造住宅の耐震診断・耐震改修の補助申請状況は。

答 耐震診断については、平成20年度から実施しており、これまで7件の申請を受けている。耐震改修については、平成21年度から実施しているが、申請はない状況である。

市民文教委員会

第2次刈谷市教育大綱

問 新たな取組はあるか。

答 「きめ細やかな学習の充実」としては、小学校3年生までの35人学級の実施やT.T授業などを行う。「特別支援教育の充実」としては、刈谷特別支援学校の子供が、地元小学校に体験入学する居住地校交流などを行う。「健やかな身体づくり」としては、一流アスリートによる学校型スポーツ教室を拡充する。「教育環境の充実」としては、令和4年度に小学校体育館、令和5年度に中学校体育館の空調設置など環境整備を進める。

その他「学校体育施設スポーツ開放」「子ども・若者総合相談窓口」「コロナ禍における子育て支援」などがありました。

質問質疑

市政のこころを問う

この定例会では3月4日・5日・8日の3日間で、17人が登壇し、42項目にわたり、市政について質問質疑が行われました。主な項目について要約し、掲載します。

質問質疑項目(発言順)(※)：掲載した項目

- 蜂須賀 信明 議員
 - ※1 刈谷市の働き方改革の推進について
 - ※2 刈谷市の新型コロナ感染症対応について
- 黒川 智明 議員
 - ※1 刈谷市施政方針について
 - ※2 刈谷市教育行政方針について
- 谷口 睦生 議員
 - ※1 災害時における高齢者等の避難支援について
 - ※2 心のバリアフリーの推進について
 - ※3 地震対策アクションプランについて
 - ※4 スポーツ施設の環境整備について
 - ※5 放課後児童クラブについて
- 鈴木 正人 議員
 - ※1 施政方針について
 - ※2 教育行政方針について
- 葛原 祐季 議員
 - ※1 中小事業者への支援について
 - ※2 依佐美地区のまちづくりについて
 - ※3 (仮称)北屋敷公園の整備について
- 星野 雅春 議員
 - ※1 施政方針について
 - ※2 教育行政方針について
 - ※3 令和3年度予算案について
- 中嶋 祥元 議員
 - ※1 市民の安全安心を向上させる施策について
 - ※2 令和3年度施政方針について
 - ※3 令和3年度教育行政方針について
 - ※4 令和3年度当初予算について
 - ※5 子どもの読書活動の推進について
 - ※6 コロナ禍での事業者支援、補助金のあり方について
 - ※7 亀城公園再整備について
- 鈴木 絹男 議員
 - ※1 野田新町駅周辺について
 - ※2 コロナ禍での事業者支援、補助金のあり方について
- 山本 シモ子 議員
 - ※1 2021年度(令和3年度)予算案について
 - ※2 市長の施政方針について
 - ※3 生活保護申請手続きについて
- 深谷 英貴 議員
 - ※1 市民への情報提供と市民からの情報収集について
 - ※2 大規模災害発生時の医療救護体制について

質問・答弁がホームページから映像で御覧になれます。

「刈谷市議会」で検索し、「議会映像を見る」をクリックしてください。



蜂須賀 信明 議員
職員のテレワークは新型コロナの収束にかかわらず推進すべき!!
働き方改革の一環として、本格実施に向けた検討を進める!!

問 新型コロナウィルス感染症拡大防止の取組として、職員が実施しているテレワークはどのようなものか。

答 本市のテレワークは、職員が職場での担当業務を自宅で行う在宅勤務を指し、勤務の分散化を図るため、令和2年5月7日から試行的に実施している。

問 テレワークで職員はどのような仕事をしているのか。

答 テレワークで実施しているのは、申請手続や相談を受け付ける窓口業務等以外の業務である。内容は、担当業務に係る調査研究、企画書や会議用資料の検討作成、公共工事に係る設計書の作成などが挙げられる。

黒川 智明 議員
長期的な視野で学校教育の充実と働き方改革の両立を!!
きめ細やかな授業を推進することもさらなる業務の効率化を図る!!

問 令和3年度に進める少人数授業とティーム・ティーチング授業のメリットデメリットは。

答 メリットは、教員が個々の子供に関わる時間が増え、子供の理解度や習熟度に合わせたきめ細やかな学習支援を行える。デメリットは、複数の教員が同時に指導を行うため、新たな打合せ時間が必要となる。

問 効率的な授業の効果は期待できる。一方、その拡充を期待できる。

答 今後のテレワークの進め方をどのように考えているか。

答 多様な働き方を推進する制度の一つとして、テレワークを本格的に実施する必要があると考えている。



新型コロナを契機として、多様な働き方の推進を

(主な答弁者：総務部長)
援者などをあらかじめ決めておく計画で、一部の地区で作成されている。

問 個別計画作成の課題は何か。また、今後の取組は。

答 避難時の支援者が見つからないこと、要介護度や障害の程度など個人情報提供の同意が得られないことなどが課題である。引き続き、民生委員や自主防災会の方々と連携、協力し、作成の促進を図っていく。

鈴木 浩一 議員
放課後児童クラブのさらなる受入れ緩和と祝日受入れ実施を!!
保護者が夜勤の場合の対応についても前向きに検討していく!!

問 放課後児童クラブの受入れ緩和を段階的に進めながらも、定員拡大を図った結果、通期の申込者の待機児童がいなくなった。夜勤のある保護者に対し通勤時間を考慮するなど、さらなる受入れ緩和についての見解は。

答 今後も待機児童がいらない安全な受入れができる体制の確保を優先するが、夜勤の保護者への対応も前向きに検討する。

問 以前、祝日受入れについて、祝日開設について、二ーズがあることは認識しているが、支援員の確保が常に課題になっている。課題の解決に向けて、引き続き調査研究を進め、新たな支援員の確保にも取り組む。

鈴木 正人 議員
市民が安心してワクチン接種を受けられる体制整備を!!
刈谷医師会とも調整し、安全安心かつ円滑な接種に努める!!

問 コロナの収束に向け、ワクチン接種が円滑に進むよう積極的に取り組んでいく必要がある。集団接種の訓練を実施したが、その詳細と課題は。

答 会場候補の一つとして予定している保健センターにおいて、運営の問題点や課題の洗い出しを目的とし、ワクチン接種対策チームの職員を中心とした約60人で実施した。実際と同様に設置し、手指消毒から接種後の経過観察までの一連の流れを行った。想定外のエリアにおいて接種者が滞留した事例があり、



災害発生時に高齢者等が逃げ遅れることがないよう対策を(グループホームでの訓練)



接種開始に向け、訓練を実施し万全の体制を

問 動線の見直しや適切な人員配置などの再検討をしていく。広く市民に接種の方法等

稲垣 雅弘 議員
 ※1 「70th+1つなげよう未来の刈谷」について
新海 真規 議員
 ※1 予防接種等事業の拡充について
 2 公園施策について
 3 請願及び陳情への対応について
 4 避難所マンホールトイレ整備事業について

上田 昌哉 議員
 ※1 刈谷市の使用料について
 2 食料支援について
 3 コロナ禍の対応について

牛田 清博 議員
 ※1 新型コロナウイルス感染症対策について
 2 教育行政の充実について
 ※3 公共交通戦略と住みよいまちづくりについて
 ※4 魅力あふれる公園づくり事業について

を周知することが重要である。 I N Eの活用、あいかりの多言
 コロナ禍における今後の取組は。 語化の早期導入など多様な手法
答 動画配信頻度の増加やL による情報発信力強化に努める。

葛原 祐季 議員
依佐美地区が安心安全で元気なまちとなるような取組を!!
 — 都市的・農業的土地利用が調和したまちづくりを進めていく—

問 企業8社の誘致が内定している先行開発区域における周辺の交通事情について、どのような変化を想定するとともに、その調査などは行っているか。
答 交通量は、1日当たり約1,200台の増加を想定している。また、国道419号と周辺の主要交差点8か所で交通量調査を実施している。

問 県の企業庁による開発を見据えた検討が進められているか。
答 国道419号及び国道23号高槻北ICに県道小垣江安城線を接続することで、既成市街地への影響を減らすよう配慮する。また、第2期開発に向けて工業用地と県道小垣江安城線を接続する新規の幹線道路の整備も予定するなど、開発時期に合わせた段階的な整備を行う。

星野 雅春 議員
離婚に係る公正証書や調停調書の作成費用の補助を!!
 — 他市の事例を参考に、二一ス等を含め調査・研究を行う—

問 離婚届出に対する案内の際どのような対応をしているか。
答 離婚等の届出がされた際子育て推進課における各種手続の案内を渡している。

問 小さい子供のいる夫婦が離婚をする場合、何かアドバイスできるか。
答 公正証書や調停調書の作成に係る費用を補助するもので

あると認識している。
問 同様な支援を導入する考えは。
答 他市の事例を参考に、二一ズや効果等を含め調査、研究をしていく。

中嶋 祥元 議員
交通安全・防犯などの安全対策を強化することが必要!!
 — 警察と協力しながら、効果的な対策を実施していく—

問 刈谷警察署管内の人身事故件数は年々減少しているが、さらに低減するためにどのような課題があると認識しているか。
答 啓発などのソフト面での対策やカーブミラー設置等の対策をより効果的なものにしていくことが課題と考えている。
問 ゴーン30内の速度抑止には、警察の協力が必要と考えるが見解は。
答 地区からの要望に基づき、必要に応じて、ゾーン30内での取締りを警察に働きかける。



犯罪抑止に効果がある街頭防犯カメラ増設を含め、さらなる防犯対策を

問 平成26年度から設置を推進した街頭防犯カメラの効果は大きい。さらなる防犯カメラ設置等を含め今後の防犯対策は。
答 地区からの要望に基づき、必要に応じて、ゾーン30内での取締りを警察に働きかける。

松永 寿 議員
公園トイレの洋式化を!!
 — 洋式便器への切替えを基本とし、計画的に改修を進める—

問 公園、広場、児童遊園にある木製遊具、木製ベンチ及びトイレの和式便器の設置数は。
答 木製遊具は5か所の公園に11基、木製ベンチは全体で約1,400基のうち約800基、トイレは全体で160か所あり、そのうち和式便器が設置されているトイレは140か所で、194基の和式便器がある。

問 木製遊具と木製ベンチの今後の更新の考え方と、トイレの洋式化の進め方は。
答 木製遊具の更新は、公園の特性などに応じて遊具の材質や種類を検討する。木製ベンチは、全体的に老朽化が進んでいることから、管理が容易で耐久性に優れた製品へと計画的に更新したい。トイレの洋式化は、洋式便器への切替えを基本とし、令和3年度に改修計画の策定に取り組み、計画的に改修を進めていきたいと考えている。

城内 志津 議員
第2次子ども読書活動推進基本計画の策定を!!
 — 第8次刈谷市総合計画を策定する中で併せて検討する—

問 平成21年に刈谷市子ども読書活動行動マニュアルを策定しているが、未公表である。また、その後、改定を行っているか。
答 その後、改定を行っていないのは西三河9市では本市のみである。現状に合わせた計画を策定しないのか。
答 本市は県が策定している第4次計画の多くの事業を既に実施しているため、子供の読書活動については満足いくレベルに達していると考えている。それらの点を踏まえ、今後の第8次刈谷市総合計画策定の中で併せて検討していく。

問 図書システムは、貸出がバーコードで容易に行えるとともに、蔵書管理等に便利である。小学校への導入から25年経過しているが中学校への導入は。
答 中学校は生徒が主体的に本の貸出等の係活動を行っている。また、学校からも強い要望がないため導入は考えていない。

鈴木 絹男 議員
野田新町駅周辺の公園が不足する地域に緑あふれる公園整備を!!
 — 令和3年度から(仮称)北屋敷公園整備事業に着手する—

問 刈谷野田北部土地地区画整理事業は面的整備率も95%を超え事業も終盤だが、事業期間はいつまでか。また、事業の課題や今後の進め方はどのようなか。
答 事業期間は、令和5年3月までとしているが、必要に応じて延伸を図っていきたい。建物等の移転が主な課題で、今後も早期完了に向け、引き続き粘り強く交渉を行っていきたい。

問 野田地区の密集市街地に消費増税理由による値上げではなく新たな減免施策を!!
 — 消費税率分の適正な負担は理解していただきたい—

問 消費増税は市民生活に打撃を与えている。さらにコロナ禍の今、新たな減免施策を打ち出すことが強く望まれるが、国から交付される地方消費税交付金の使い道に制限があるのか。
答 交付金は一般財源に入るので、消費税率5%から10%への改定分は、社会保障施策に充てることとされている。
問 4年ごとの使用料改定に伴うとする施設利用料の値上げは、市民の負担を考慮せず市都合で行うのか。
答 公平性の観点などから空調施設や照明設備の電気料金を、適正に負担していただきたい。

問 まちづくり税として家を所有する市民にかかる都市計画税を引き下げるよう求める。引下げの検討をした経緯はあるか。
答 現在の0.3%の税率をまちづくりの財源として有効に活用していく。



消費税増税やコロナ禍の今こそ市民生活を守る施策を

深谷 英貴 議員
コロナ禍での大規模災害発生時における医療救護体制の確立を!!
 ―感染症を想定した対応について関係者と協議等していく―

問 大規模災害発生時の医療救護は、市民の命を守る最重要ミッションと考える。「刈谷市に住んでいるから安心だ、だから刈谷市に住み続けたい」と思われるようなまちづくりを進めなければならぬ。コロナ禍による医療救護所の変更点は、何か。

答 非接触型体温計、医療用ガウン、マスク、アルコール消毒液等の物品配備を増やすなど、従来以上の対策を講じている。また検証も必要と考えている。

問 コロナ禍での医療救護所対応の課題は認識しているか。

答 感染症拡大により、令和



大規模災害時の医療救護所にコロナ対策を追加し命を守る

稲垣 雅弘 議員
教員の負担軽減を考え、先取りした形で教科担任制の実施を!!
 ―専科教員を増員できれば、より充実した教科担任制を行いたい―

問 教育長の教育行政にかけろ思いは。また、教科担任制についての現状と今後の目標は。

答 教職員が一人一人の子供に寄り添い、教育活動を充実させることが大切であると考えている。この姿勢はコロナ禍でも変わらない教育の不易の部分であり、最も重要なことだと考えている。こうした思いの下で学校、地域、家庭と連携して、未来の担い手である子供たちが社会で元気に羽ばたけるように教育行政に取り組んでいく。また、教科担任制については、令和2年度に小学校で音楽、英語、国語の書写等で教科担任制を実施



教科担任制を拡大し、子供たちに効果的な教育を(令和元年12月撮影)

新海 真規 議員
带状疱疹は大きな苦痛を伴う。多くの情報発信を!!
 ―带状疱疹ワクチンについて市民だよりなどで周知していく―

問 带状疱疹の正確な発症率は不明だが、刈谷市では年間には不明だが、刈谷市では年間にある。带状疱疹の後遺症は、

答 带状疱疹が治った後も、強い痛みが数年続き、日常生活に支障が出るほど重篤な場合もある。発症者の10〜15%程度に後遺症が生じるとも言われる。

問 带状疱疹ワクチンは接種対象者が50歳以上であり、約8千円のもの約4万円のものがある。市の助成額は。

答 1人当たり上限3千円を

問 補助し、市民税非課税世帯などには上限8千円を補助する。

問 带状疱疹ワクチンは8月から助成を開始する予定だが、他のワクチン接種に影響するか。

答 ワクチンの種類によって、間隔を空ける必要がある。なお、ファイザー社製の新型コロナウイルスワクチンとは13日以上間隔を空けなければならない。

上田 昌哉 議員
公平性の観点から刈谷ハイウェイオアシスの使用料の引上げを!!
 ―引上げは考えていないが社会情勢等の変化を注視していく―

問 市内の地価が上がっていることや、消費税増税などにより他の使用料は引上げが行われていることを考慮すると、公平性を追求するために刈谷ハイウェイオアシスの使用料の引上げを行うべきと考えるが、市は引上げを考えていないのか。

答 現在のところ、公園使用料の変更は考えていないが、今後の社会情勢などの変化を注視していく。

問 引上げをしないと不公平感がより一層際立つと考える。他の使用料との公平性を担保するにはバランスが取れていないと考えるが、市の見解は。



岩ヶ池公園内での使用料は、商業施設として既に引上げを実施

牛田 清博 議員
市民の声を真剣に聴き、お城ありきでなく魅力ある亀城公園に!!
 ―事業の見直しは考えていないが広く意見を頂き取りまとめたたい―

問 感染者を増やさないため、新型コロナウイルスの定期的なPCR検査等をワクチン接種と並行して行う体制をつくるべきでは。

答 県では3月に高齢者施設等職員へのスクリーニング検査を実施予定だが、定期的な検査は未定で県の動向を注視する。

問 平成7年に福祉バスの早期実現を市議会で決議している。安易な有料化は市民の分断を生む。無料バスも含めた総合的な

問 公共交通を検討すべきでは。

答 「かりまる」の利便性向上のための見直しは、利用者が選択できる交通手段を組み合わせた交通体系を考えている。

問 市民は多様な人が憩える魅力ある公園を望んでいる。お城ありきではない公園の整備構想を作成すべきではないか。

答 亀城公園は歴史公園化を目標にしており、石垣や隅櫓等の復元をする事業が中核である。

3月定例会における新型コロナウイルス感染症への主な対策として、12月定例会での対策に加え、議場等の各席に間仕切りを設置しました。

議会トピックス

議員研修で議会ICT化を学ぶ(2月8日)

議会事務局実務研究会の北村純一氏による「ICTと議員活動」についての講演では、ICT化のメリットだけではなく、セキュリティリスクやルール化に課題があることを改めて認識しました。研修後には実際にタブレットを使用し操作確認をしました。ICTを正しく活用し今後の議会活動に生かしてまいります。

■コロナ禍での災害を想定した避難訓練(3月4日)



災害発生時に対応できるよう様々な想定をしながら実施

感染症対策として避難用の防煙フードを装着し、密を避けながら訓練を行いました。

■刈谷市議会会議規則の改正
 女性をはじめ多様な人材が市議会へ参画できるよう、産前産後に欠席できる期間を明記するなどの改正を行いました。また、皆様が提出される請願は、署名の場合、押印が不要となりました。

編集後記

コンのようですが、取り外しが可能で、十分パソコンの機能もあります。小学校から中学校卒業まで同じタブレットを使いますので、取扱いに不安がないように工夫がなされています。タブレット学習が一気に広がったと感慨深いです。このタブレットを使って子供たちが何を学び、創造してゆくのかが、私たち教える側もステップアップが求められます。

◆令和2年度は、新型コロナウイルスによる学校休校に始まり、イベントの自粛などで日常生活が大きく変化しました。市議会としても皆様の声を基にコロナ対策の提言を市政に届け、施策の実現につなげてきました。

◆3月定例会では、新型コロナウイルス感染症対策事業、ワクチンの円滑な接種を前提に、令和3年度予算「日本一 安心安全なまち刈谷」の実現に向けた審議を縦横に行いました。

◆表紙の写真は、小中学校で1人に1台貸与されているタブレットです。一見すると普通のパソコンのようですが、取り外しが可能で、十分パソコンの機能もあります。小学校から中学校卒業まで同じタブレットを使いますので、取扱いに不安がないように工夫がなされています。タブレット学習が一気に広がったと感慨深いです。このタブレットを使って子供たちが何を学び、創造してゆくのかが、私たち教える側もステップアップが求められます。

◆刈谷市議会では、今後も皆様の声をしっかりと受け止め、信頼される議会を目指し全力で取り組んでまいりますので、引き続きの御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

(議会広報委員会)